

11月 20-26日

ヨブ 18-19 章

44 番の歌と祈り 五味 統

開会の言葉 (1分) 大谷 正

神の言葉の宝

「仲間を決して見捨てない」 (10分) 長谷川 貴史

宝石を探し出す (10分) 滝 秀貞

ヨブ 19:1-2 ヨブはそれを聞いて言った。2 「いつまで私をいら立たせ、言葉で打ちのめすのか。

友人たちの思いやりのない言葉に対するヨブの反応から何を学べるか。 (塔 94 10/1 32)

しかし、ヨブ自身が励ましを必要としていた時、エリパズとその仲間は親切な言葉をかけませんでした。彼らはヨブが逆境に陥ったのは彼に責めがあるためだとし、ひそかに過ちを犯しているに違いないということをほのめかしました。(ヨブ 4:8) 「注釈者の聖書」には、「ヨブが必要としているのは、人の心から出る思いやりである。彼が得るのは、一連の全く“真実で”、全く美しい宗教的な決まり文句と道徳的な陳腐な言葉である」という注解が加えられています。エリパズとその仲間が語るのを聞いたヨブはひどく取り乱し、「いつまで、あなた方はわたしの魂をいら立たせ、しきりに言葉でわたしを打ち砕くのか」と叫ばざるを得ませんでした。—ヨブ 19:2。思いやりのない、厳しい言葉を口にしたために、仲間の神の僕を苦しめて叫び声を上げさせるようなことが決してあってはなりません。(申命記 24:15 と比較してください。) 聖書の箴言は、「あなたの言うことは命を長らえさせることも滅ぼすこともできる。ゆえに、あなたは自分の言葉の招く結果を受け入れなければならない」と戒めています。—箴言 18:21、今英。

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。

(19:25-26) ……その方は私の後に来て地上で立ち上がる。26 皮膚がこうして損なわれ、こんな体になっても、私は神を見る。ヨブは神が自分の苦しみを許しておられるとしても、19:25-26 にあるとおり結局は神が救いのために行動してくださるという希望を捨てず、神との関係で忍耐する力が得ていたことが分かる。私達も今聖書を学びご意思を行なう習慣を通してエホバとの絆を強めていきたい

聖書朗読 (4分) ヨブ 18:1-21 (教励 第5課) 金目 一郎

野外奉仕に励む

最初の話し合い（3分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。よくある反対意見に対応する。
。（[教励 第12課](#)） 柴田 さつき 12 田中 麻美子

再訪問（4分）[話し合いのサンプルの話題](#)に沿って話す。集会に招待する。「[王国会館においてください](#)」の動画を紹介し、話し合う。（再生はしない）（[教励 第3課](#)） 田島 智子 3 荻原 幸子

話（5分）[塔研 20.10.17 ページ 10-11 節](#) 主題: 学んでいる人が会衆の兄弟姉妹と親しくなれるよう助ける。（[教励 第20課](#)） 伊藤 勇一

クリスチャンとして生活する

[90 番の歌](#)

「エホバの友になろう ひとのたすけになろう」（5分）討議。[動画](#)を再生する。もしいれば、前もって選んでおいた子供たちに次の質問をする。 浮田 蒼

1. ほかに人を助けるために子供たちにはどんなことができるか。

お小遣いを貯めて寄付をしたり、被災した仲間のために祈ることができる

2. ほかに人のためにどんなことをしたいと思うか。

普段から仲間の必要を観察し、相手の喜ぶ仕方で、できることを喜んでやる

「[ベテル奉仕者を励ますための取り決め](#)」（10分）討議。[動画](#)を視聴する。 吉田 忍

会衆の聖書研究（30分）[徹2章 8-15 節](#) 有田 悟 朗読: 阿部 直生

閉会の言葉（3分） 大谷 正

[63 番の歌](#)と祈り 星 延宏

^ ([ヨブ 18:1-19:29](#)) シュアハ人ビルダドはそれを聞いて言った。2 「いつになったら、そのひどい話をやめるのか。物分かりが良ければ、私たちが話してあげよう。3 どうして私たちは動物のように見なされ、愚か者*と見られるのか。4 あなたが怒りのままに自分を引き裂けば、あなたのために地上には人がいなくなるとでもいうのか。または、岩が崩れ落ちるとでもいうのか。5 悪人の光は消え去り、悪人の炎が輝くことはない。6 天幕の中の光は必ず暗くなり、彼を照らすランプの灯は消え去る。7 彼の力強い歩幅は狭くなる。彼は自分で立てた策略に足を取られる。8 自分の足が赴くままに網に掛かる。さまよいながら足を網に載せる。9 仕掛けが彼のかかとを捕らえる。彼はわなに掛かる。10 彼を捕らえる網が地面に、仕掛けが通り道に隠されている。11 恐ろしいことが四方から彼を襲い、彼の足を追い掛ける。12 彼は力が衰え、災難によってよける*。13 彼の皮膚はむしばまれ、命を奪う病気*が手足を食い尽くす。14 彼は、安全な自分の天幕から引き離され、恐怖の王*のもとへ行進する。15 彼の天幕にはよそ者たちが住み、硫黄が

神の言葉の宝

仲間を決して見捨てない

ヨブの親族はヨブとの交流をやめた。（ヨブ 19:13 神は私の兄弟たちを私から遠ざけた。私を知っている人たちは私から離れ去った）

幼い子供たちや召し使いもヨブに敬意を示さなくなった。（ヨブ 19:16 私は召し使いを呼ぶが、返事がない。私はこの口で同情を乞う、18 幼い子供たちも私を見下し、私が起き上がると、からかい始める）

親友たちもヨブに敵対した（ヨブ 19:19 親友たちも皆、私をひどく嫌う。私が愛した人たちは私に敵対した



考えてみよう「仲間が辛い経験をしている時も、どのように支え続けることができるだろうか」。（格 17:17 真の友はどんな時にも愛を示す。苦難の時に頼れる兄弟である。塔研 22.01 16 ページ 9 節 私たちも深く悲しんでいる人を支えることができる。イエスは、マルタやマリアと一緒に涙を流しただけでなく、2 人の話に耳を傾け、優しい言葉を掛けました。私たちも同じようにすることができます。塔研 21.09 30 ページ 16 節 排斥された人の家族を支え続けましょう。そうした人たちは、皆さんの愛や励ましをこれまでになく必要としています。（ヘブ 10:24, 25）時には、自分も会衆の人から避けられているように感じることもあるからです。そのようなことが決して起きないようにしましょう。若い人は、親が真理から離れた場合は特に、褒めてもらったり励ましてもらったりする必要があります。塔 90 9/1 22 ページ 20 節 長老団は、削除された兄弟がたとえ自発的にその特権を手放したとしても、その削除によって以前の監督や奉仕の僕にストレスが加えられる場合のあることを理解すべきです。もしその男子が排斥されておらず、その兄弟が憂うつになっていることを長老団が見て取ったなら、長老たちは愛ある霊的な助けを与えなければなりません。（テサロニケ第一 5:14）長老たちは、その兄弟が会衆内で必要とされていることを理解できるよう助けなければなりません。助言が必要であった場合でも、謙遜で感謝の気持ちを抱く男子が会衆内で付け加えられた奉仕の特権を再び得るまでに、非常に長い時間がかかるということはないでしょう

^（ヨブ 19:13） 神は私の兄弟たちを私から遠ざけた。私を知っている人たちは私から離れ去った。

クリスチャンとして生活する

ベテル奉仕者を励ますための取り決め

誰もが問題にぶつかり、励ましや支えを必要とします。強い信仰を持っている人やエホバの組織で責任を担っている人も、気落ちすることがあります。（ヨブ 3:1-3 その後、ヨブは話し始め、自分が誕生した日(d*自分の日)のことを悪く言った。2 ヨブは言った。3 「私が生まれた日は滅んでしまえ。『男の子が生まれた！』と誰かが言った夜も。詩 34:19 正しい人は多くの苦難(*災難)に遭う。しかし、エホバがその全てから助け出してくださる) ベテル家族を牧羊する取り決めから何を学べますか。

「エホバに頼る」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

1. ベテル奉仕者はどんな問題を抱えることがありますか。

世界中の他の兄弟姉妹と同じような問題を経験。重い病気を抱えながら、奉仕を続けている人たちも居る。高齢の親のことを心配している兄弟姉妹も居る。親を世話するために愛するベテルを離れた人たちも居る。時々気分が酷く落ち込む仲間も居る。皆いろいろな問題を抱えていますが、そのことばかりを考えてくよくよしたりはしない。前向きな見方を持つように努力している。エホバに頼り問題に取り組んでいる。割り当てられた仕事を一生懸命に行なっている。

2. ベテル奉仕者を励ますためにどんな4つのことを行っていましたか。

①その人のために祈り、その人にぴったりの牧羊ができるよう聖書から準備する。牧羊の前に。
②牧羊の際、話しを良く聞くようにする。単に耳で聞くだけではない。気持ちを汲み取るようにする。相手の身になって考え、思いやり深く接する。③聖書を使ってエホバが必ず支えてくれることを話す。④牧羊の終わりに祈る際、相手の名前を含める。偉大な牧者エホバにその人と一緒に助けを求める。

3. 仲間を励ましている兄弟たち自身、どのように励まされてきましたか。

G：エホバは難しい問題を抱えている人に深い愛を示す。それを何度も見てきた。私自身難しい状況に置かれた時、エホバの優しい気遣いを実感した。エホバに慰めてもらうため、良く祈り、聖書を読んだ。仲間も支えてくれた。そのおかげで今は兄弟姉妹を励ますことができている。

R：巡回奉仕をしていた時に声が出なくなっ、声帯の手術を受け、その後6週間話すことができなかった。その間それまで書いたことが無いほど沢山のメールや手紙を書いた。他にもいろいろな問題にぶつかった。愛する家族も亡くした。でもエホバはずっと支えてくれた。多くの仲間がエホバの支えを感じられるよう助けることができ嬉し。

(G/ジェラルド・グリズルと R/サム・ロバーソン：エホバに頼る)

(ベテル奉仕者はどんな問題を抱えることがある?) Gグリズル：他の兄弟姉妹と同じような問題を経験。ペテロ 5:9：世界中に居る信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験している。ベテル家族の中には重い病気を抱えながら、奉仕を続けている人たちも居る。高齢の親のことを心配している兄弟姉妹も居る。親を世話するために愛するベテルを離れた人たちも居る。時々気分が酷く落ち込む仲間も居る。皆いろいろな問題を抱えていますが、そのことばかりを考えてくよくよしたりはしない。前向きな見方を持つように努力している。エホバに頼り問題に取り組んでいる。割り当てられた仕事を一生懸命に行なっている。(G兄弟、ありがとう。)

(R兄弟はそのようなひとをどのように励ましている?) Rロバーソン：辛い経験をしているベテル奉仕者を励ますため、4つのことを行なっている。①その人のために祈り、その人にぴったりの牧羊ができるよう聖書から準備する。牧羊の前に。②牧羊の際、話しを良く聞くようにする。単に耳で聞くだけではない。気持ちを汲み取るようにする。相手の身になって考え、思いやり深く接する。③聖書を使ってエホバが必ず支えてくれることを話す。相手はとても元気付けられる。最近非常に大きな問題を経験している兄弟と話した。一緒に出エジプト 3:7,12 を読んだ：7 エホバはさらに言った。「私は、エジプトにいる私の民の苦悩を確かに見た。強制労働をさせる者たちのことで叫ぶ彼らの声を聞いた。彼らの苦痛をよく知っている。12 神は言った。「私があなたと共にいる。そして、あなたが民をエジプトから連れ出した後、あなたたちはこの山で真の神に仕える。それによって、私があなたを遣わしたことをあなたは理解する」。最後の言葉が印象的。温かい気持ちになる。エホバは彼らつまりご自分の民の苦痛を知っているとではなく、良く知っていると書かれている。そしてファラオのもとに行くことを恐れたモーセを励ますため、こう言った。12 節前半：神は言った「私があなたと共にいる」。短いですが、力強い言葉。エホバはモーセを助け、少しも離れないことを力強く保証した。傍にいて支え、一瞬たりとも離れないということ。力が湧いて来る。④祈りに関すること。牧羊の終わりに祈る際、相手の名前を含める。偉大な牧者エホバにその人と一緒に助けを求める。テサロニケ 5:14：気落ちしている人に慰めの言葉を掛け、弱い人を支え、誰に対しても辛抱強くあってください。是非このようにしたいと思っている。(ありがとう。どれも大切。)

(仲間を励ますことは、ご自身にとってどのように助けになってきたか? G兄弟からどうぞ) G：エホバは難しい問題を抱えている人に深い愛を示す。それを何度も見てきた。私自身難しい状況に置かれた時、エホバの優しい気遣いを実感した。少し前のことだが、私は母親と兄と父親を亡くした。一年の間に。2017 年には愛する妻オギーを亡くした。夫婦で 65 年近く一緒にエホバに仕えてきた。エホバに慰めてもらうため、良く祈り、聖書を読んだ。仲間も支えてくれた。そのおかげで今は兄弟姉妹を励ますことができている。

(話してくださり、ありがとう。R 兄弟にとっては、どのように助けになってきたか?) R：特に記憶に残っているのは、妻のリンダとともに巡回奉仕をしていた時の問題。声がでなくなってしまった。声帯の手術を受けた。その後 6 週間話すことができなかった。巡回監督にとっては、鳥が翼を失うようなもの。その間それまで書いたことが無いほど沢山のメールや手紙を書いた。他にもいろいろな問題にぶつかった。愛する家族も亡くした。G 兄弟と同じ。でもエホバはずっと支えてくれた。多くの仲間がエホバの支えを感じられるよう助けることができ嬉し。統治体は責任ある兄弟たちを含め、エホバの民全てを深く気遣っている。そう実感している。統治体はあらゆる慰めの神エホバと同じ気持ちを抱いている。(兄弟たち、ありがとう。沢山のことを学べた。仲間を励ますお二人の奉仕に感謝してる。ご自身も試練に耐え、エホバの慰めを経験し、その経験を生かして仲間を慰めておられる。ありがとう) 以上